

電子複写不可

連合軍の質問に対する回答 (NAV)

1/10

司馬務部 資料課

⑧
連合軍
1

3 4 5 6 7 8 9 (70) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (80) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (90) 1 2 3

6

昭和二十年十月十八日

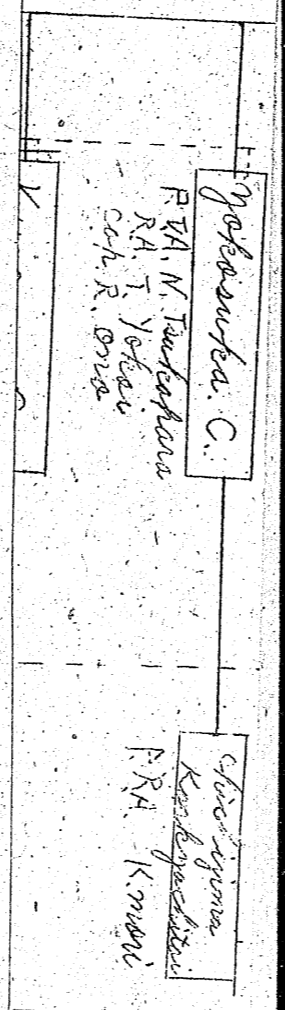
爆撃調査團質問覺書第六號(一九四五年一〇月一三日附
硫黄島作戦)ニ對スル回答

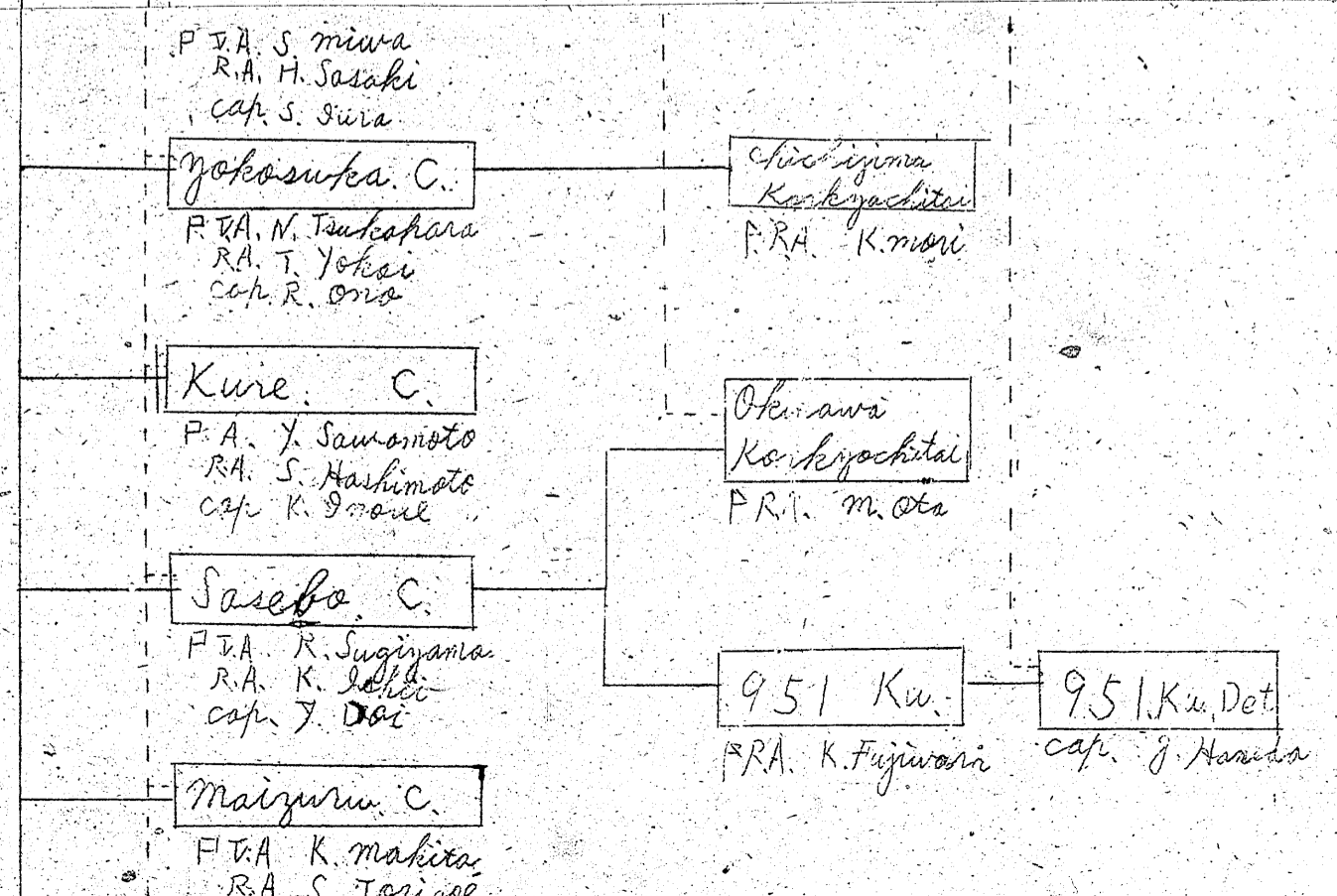
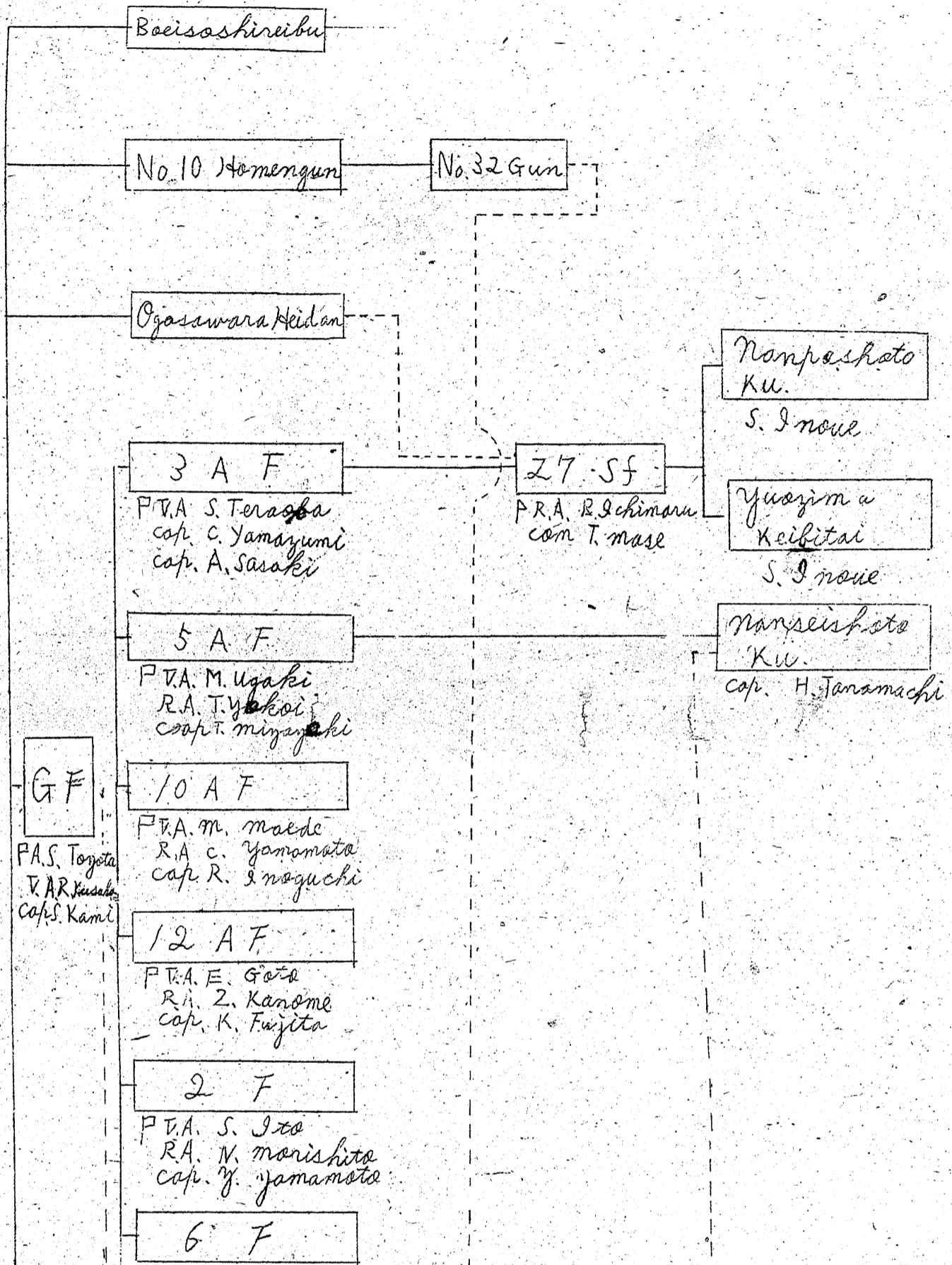
海軍省史實調査部

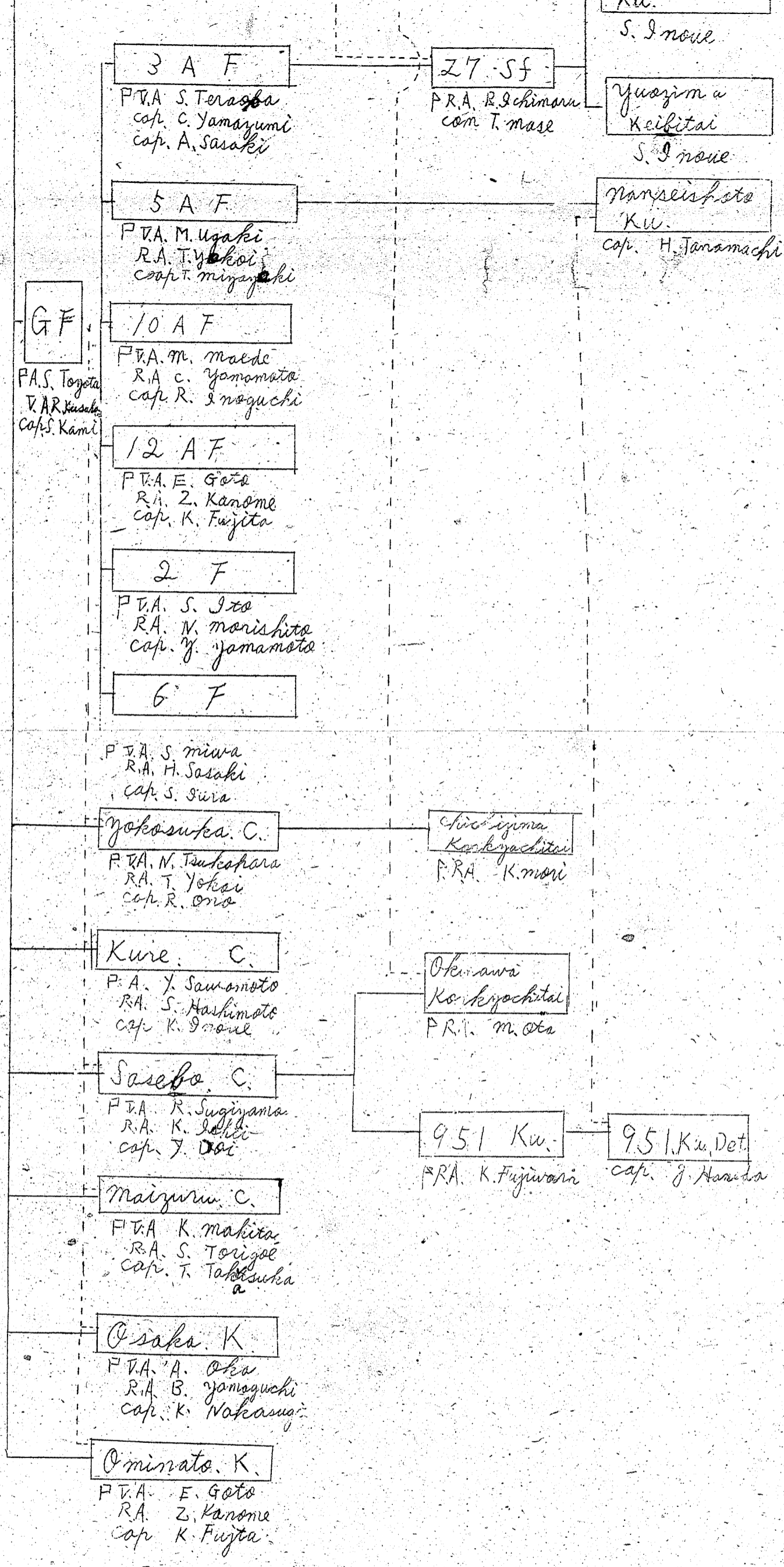
第
廿

(3)11#2

97 一、南方諸島、南西諸島及本土所任總兵力（陸海空共）ノ指揮系統竝ニ指揮官、參謀長、作戰參謀ノ氏名別表ノ通







中部太平洋方面所在日本兵力ニ對シ發セラレタル二月十五日ノ機關關係命令

- (A) 第四項ニ記註セル一般の命令ノ外當日特ニ發セラレタル命令ナシ
- (B) 海軍及航空兵力ノ配備

部隊	所在
第二七航空戰隊	
南方諸島航空隊	硫黃島
硫黃島警備隊	
父島根拠地隊	父島

二月十五日ニ於ケル日本側ノ情勢判斷

- (A) 米軍ハ機動部隊ヲ以テ内地空襲ヲ行フト共ニ硫黃島攻略ノ算大ナリ
 - (B) 比島作戦ノ關係上直接南西諸島、台灣方面攻略ノ算渺シ
- 作戦計畫、作戦命令及指示等ノ寫又ハ要點ノ拔萃

- (A) 硫黄島攻略ニ際シテハ極力現地部隊ヲ以テ反撃出血ヲ強要ス
- 一部ノ航空部隊 (3AF) 及潜水部隊 (6F) ヲ以テ之ヲ支援ス
- (B) 航空攻撃ハ小型機ヲ以テスル特攻攻撃竝ニ大型機ヲ以テスル夜間攻撃ヲ實施ス
- (攻撃目標ハ軍艦、輸送船等限定シアラズ其ノ都度指定ス)
- (C) 潜水艦攻撃ハ一部「回天」攻撃ヲ實施シ主トシテ硫黄島附近ニ於テ艦船ノ攻撃ニ任ス
- (D) 水上艦艇ハ積極的ニ使用セス
- 機動部隊ノ本土空襲ニ對應スベキ作戰計畫及作戰命令ノ寫又ハ要點拔萃
- (A) 極力索敵ヲ實施シ敵情偵知ニ努ム
- (B) 攻撃ハ可及的ニ實施スルモノトシ全力ヲ以テスル反撃ハ企圖セス
- (C) 敵機ニ對スル邀撃ハ防禦目標ヲ決定スル專ナク攻撃成果大ナリト豫想セル場合ノミ自主的ニ實施ス

六前述べた作戰計畫及命令ニ依ル作戰行動ニ歸スル簡單ナル要領ヲ示ス

- (A) 二月十三日以降本州南方洋上ノ飛行哨戒 (進出距離六〇〇―七〇〇哩) ヲ實施ス
- (本哨戒ハ燃料節約ノ爲中止中ノモノナリ)
- (B) 二月十三日「ガム」島偵察
 - ① 「アブラ」港ニ大型輸送船二隻、中小型輸送船約三〇隻、第一飛行場ニ大型機五〇、小型機約三〇
 - 第二飛行場ニB二九ヲシキモノ約一五〇機、小型機少數ヲ發見ス
 - ② 「ガム」島ノ二二〇度一三〇哩ニ巡洋艦二隻針路西
 - 「サイパン」ノ西方九〇哩 (?) ニ艦船約一〇〇隻針路北西ナルヲ發見ス
- (C) 二月十四日

- (1) 木更津ヨリ黎明時一五〇度方向ニ發進セル索敵機ハ未歸還
- (2) 一六〇〇索敵機ハ硫黄島ノ一六〇度一五〇哩ニ於テ戦艦一隻、巡洋艦二隻、驅逐艦約一五隻輪型陣ニテ航行中ヲ發見ス

(D)二月十五日

(1) 〇七〇〇米艦載機、東方面來襲後（時刻不明）彗星二七機、零戦四機、索敵攻撃ノ爲發進セルモ攻撃ヲ實施セル飛行機ハ大部未歸還ナル爲成果不明
 但彗星二機大吠岬ノSS^E五〇海ニ空母一隻ヲ含ム二〇數隻（大型艦一隻炎上中）ヲ發見ス
 彗星一機（香取ヨリ八〇度方向ニ進撃セルモノ）
 空母二隻ヲ基幹トスル一群ヲ以撃セルモノノ如シ（無線ニ依ル）
 全攻撃隊ノ被害
 未歸還 彗星一〇機、零戦一機

(2) 遊撃戦
 索敵延機數約一〇〇〇機
 海軍ノミノ戦果並ニ被害
 撃墜八二機、地上被害五八機、未歸還四四機
 地上戦死傷六二名

(E)二月十六日

(1) 〇六〇〇山崎ノSE一〇〇海ニ遊撃機一隻ヲ發見セル外敵艦船ヲ發見セズ

(2) 遊撃戦
 索敵延機數 五五〇機
 海軍ノミノ戦果並ニ被害
 撃墜三八機、地上被害一一機、未歸還機二機

(E)二月二十日
 (1) 敵艦船ノ状況確認シ得ズ
 (2) 遊撃戦
 海軍ノミノ戦果被害
 撃墜二五機、未歸還二五機

(A) 日本海軍ノ作戦全期間ニ於ケル損害
 海軍艦船ノ損失

(1) (1) (1) (1)

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

(1) 潜水艦

伊一六八號、伊一七〇號ハ二月十五日ヨリ二月二十二日ノ間硫黃島附近ニ於テ作戦中沈没

(2) 監視船

二月十五日ヨリ二月十七日ノ間本州南方三〇〇海里附近ニ配備シテリソ監視船(一〇〇一三〇〇号)中正隻沈没、三隻行方不明、五隻損傷ス

飛行機、潜水艦、艦艇トノ交戦ニ依ルモノナルモ詳細不明

(B) 實際硫黃島防禦戦ニ於テ失ハレン飛行機數

陸上機

(C) 機動部隊ノ本土空襲ニ依リ失ハレン機數

地上九九機、遠征機七一機、艦隊攻撃一一機

(D) 航空連絡施設ノ受ケタル損害

(1) 機動部隊ニ依ルモノ

中島武藏野工場(機動機)大破 約一ヶ月間作業不能
中島小泉工場(機修) 半壞 製作中ノ零機一〇機

銀河二五機、遼山一機
天雷一機大破

(2) B二九ニ依ルモノ

資料不足ニ就キ調査長時ロフ事ス
商工省ニテ調査セバ便ナルベシ

ハ三月十六日ニ於ケル日本側情報判断

(A) 日本本土及南洋四諸島、台湾等

爾後ノ作戦線ノ指向方向ノ豫想困難トナル

(B) 硫黃島基地整備後(四月中旬以降)

「マリアナ」方面ヨリスル航空攻撃竝ニ偵察ノ激化ニ依リ生産、交通ノ維持甚シク困難トナルト共ニ企圖ノ秘匿極メテ困難化ス
(C) 「マリアナ」方面ノ偵察竝ニ攻撃ハ甚シク困難トナル

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

硫黄島ノ失陥竝ニ機動部隊ノ本工至襲開始ノ結果戦略及戦術諸計畫竝ニ作戦命令等ニ變更ヲ來センモノアリシヤ

(A) 本土攻略戦ノ時機逼迫シ最モ早キ場合六月頃一季諸東方面ニ來襲ノ算生起セシヲ以テ之ガ作戦準備ヲ下令ス

(B) 航空教育ニ専念シアリシ練習艦隊航空總隊ヲ解散シ教育部隊ヲ以テ第十航空隊ヲ編成、全海軍航空隊ヲシテ特攻化ス

(C) 機動部隊ノ攻撃ニハ搭乗員ノ訓練不十分ナリシヲ以テ之ガ急遽訓練ニ努メ成算ヲ得ルニ至ル迄ハ必力温存ニ努ム

(D) 遠征機隊ニ於テハ戰術機ニシテハ好機アル場合ノ外積極的攻撃ヲ行ハズ

(終)

2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2

戰略爆發調査團海軍分科會第七號 (十月十三日)

一九四五年三月二十五日ヨリ同八月十五日ニ至ル間ニ於ケル沖組作戰ニ關スル左記情報ヲ提供スベシ

一 南西諸島、台湾及本土ニ於ケル日本軍 (陸、海、空軍) ノ指揮組織 (圖表ニテ示ス)

先任指揮官、參謀長、作戰參謀ノ氏名

二 三月二十五日中部太平洋ニ在ル日本軍ニ對スル戰鬪命令及當時ノ海軍、空軍ノ配備

三 三月二十五日ノ日本軍情況判斷

四 南西諸島防衛ニ關スル作戰計畫、作戰命令及指示ノ摘錄

五 母艦航空部隊ノ攻撃ニ對スル本土防衛計畫

六 右計畫及命令ヲ實行セル簡潔ナル戰鬪報告

七 本作戰間ノ日本軍損害報告

(イ) 艦艇損害	場所、時辰、原因
(ロ) 航空機損害	目標地點ニ於テ
(ハ) 航空機損害	本土ニ對スル母艦航空部隊攻撃ノ結果

八 一九四五年六月二十一日ニ於ケル情況判斷

九 沖組失陷ノ結果 戰略竝ニ戰鬪計畫ノ變更

寫

證明書

別紙「一九四五年十月十八日附、戰略爆撃團海軍分科會第七號ニ對スル
回答、史實調査部」は一九四五年十月十三日附覺書N A V第七號を以て
米國戰略爆撃調査部隊からの要求により日本海軍省が調製同隊に提出し
たものの寫であることを證明する

昭和二十五年七月二十四日

第二復員局殘務處理部資料課長

吉田英三

G-2
本局の要約
25-7-24
月
氏
送
付